

1 開会の日時及び場所

- ・日時 平成20年3月25日(火) 午後2時～午後3時20分
- ・場所 中仙農村環境改善センター 2階 農事研修室

2 出席した委員等の氏名

- ・出席委員 金子美喜男委員 木元洋子委員 古村貞夫委員 佐藤昭夫委員  
高橋國文委員 高橋尊雄委員 高橋辰美委員 傳農富士夫委員  
長谷山祥子委員 平瀬一浩委員 藤田貞子委員

以上11名

(欠席 秋山 康委員 佐藤育男委員 鈴木恭子委員 高貝昇太郎委員  
高橋 修委員 高橋亮光委員 藤澤英夫委員)

- ・市職員 副市長 久米正雄 企画部長 佐々木正広 中仙総合支所長 後藤善良  
地域振興課長 鈴木雅幸 市民課長 田口元彦 農林振興課長 佐藤昭光  
建設課長 傳農順一 八乙女荘事務長 三浦哲夫 桜寿苑施設長 北田正雄  
教育委員会中仙分室参事 秋山功 地域振興課参事 佐々木孝雄  
農林振興課参事 高橋松男 農林振興課参事 細井盛一 総合政策課参事 大友重俊  
市民課副参事 湯野沢俊作 建設課副参事 齋藤雄幸 総合政策課主幹 北野悟  
地域振興課主幹 田口祥吾

以上18名

3 次第

【開会】

会長が開会を宣言

【会議の成立】

事務局から出席委員11名、欠席委員7名で2分の1以上の出席があり協議会の成立する事を報告。

【会長あいさつ】

- ・ようやく春めいた天気となり、どうやら桜前線も近づきまして、秋田地方も4月中旬には開花するんじゃないかとの報道もなされており、正に観光シーズンの到来といったところであります。今日は年度末を控えお忙しいところ副市長始め市の幹部職員、また委員の皆様からご出席いただき、心から厚くお礼申し上げます。早いもので市町村合併から4年目を迎えます正にこれからが正念場と思えるような次第でございます。マスコミでも色々報道されておりますが、どの市町村でも財政難に置かれているのが現状のようでございます。当大仙市においても財政難で苦労しているような態

勢でございまして市の幹部の方々のご労苦に対し敬意を表する次第であります。今後市長始め市の職員の方々の尽力によりまして、1日も早く財政難から脱却して貰いたいと思います。昨日本庁におきまして第2回目の都市計画マスタープラン策定委員会が開催されました。20年後を見据えた大々的な計画でございまして、現在大仙市の人口が9万3千人といわれておりますが、20年後には6万人になるだろうというように想定されておまして、少子高齢化が現実に見れているのが現状のようです。こうした内容につきまして20年度に総合支所の職員の方々、そしてまた委員の皆様との意見交換をしまして、この大事案をどのように持って行くかを協議なされると思いますのでどうか委員の方々も心に留めておいていただきたいと思います。いずれにしても莫大な資料でございまして、20年も都市計画をやるのは経費もかかるわけですが、先ほど申し上げました少子高齢化に伴いまして財政難が課題となっております。いずれにせよ皆さんにご相談する機会があると思いますのでその時はよろしくお願いたします。今日はこうした財政難の中にありながら、前年同様に地域枠予算を500万円ほど頂戴しているところであります。これからその執行に当たって説明させていただくわけですが、執行に当たっては市長から特段のご配慮をお願いしたいと思っております。今日は副市長始め幹部職員の方々がお出席されておりますので、せっかくの機会ですので、意見交換の場を持ちたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。開会に当たりまして一言ご挨拶させていただきました。有難うございました。

#### 【市長あいさつ】

- ・副市長の久米でございます。今日は市長が所用のため出席できませんので変わりに私が出席させていただくことになりました。中仙地域協議会の開催に当たり一言ご挨拶申し上げます。委員の皆様には合併以来、大仙市まちづくりの基本となる住民との協働の趣旨をご理解され、お忙しい中ご協力を賜り感謝申し上げます。この後も引き続きよろしくお願いたします。さて、大仙市は地方分権時代に対応した、住民が安心して暮らせる地域をつくるため、8市町村による市町村合併を選択し、新しい市として誕生してから、4年目を迎えましたが、地方自治体の自己決定、自己責任の強化が図られる中、いかに住民の声を施策に反映させるのかが重要な課題であると考えております。大仙市としては、地方が地域の伝統文化を活かし、活力あるまちづくりを進めるため、旧市町村毎に地域自治区を設置し、地域協議会を設けることを選択し、各地域協議会の皆様には活発な活動をしていただいております。さらに、市政は市民のためにを基本理念とし、情報公開や説明責任による開かれた市政の推進、職員が常に市民の目線に立ち、現場に足を入れ、行政情報はできるだけ分かりやすく市民に提供する体制づくりなど、常に社会の新しい動向や変化に敏感に対応することに心がけ、市民の目線で物事を考え、大仙市の総合計画の中で経営方針として示しております住民との協働のまちづくりに向け、職員と共に汗を流しながら、今後とも取り組んでまいりたいと存じます。平成20年度当初予算については、一般会計の予算額が412億7,121万4千円で前年度に比べ15億1,748万6千円の減、率にして3.5パーセントの減となっております。特別会計予算は、23特別会計で237億6,461万円、企業会計予算は2事業で20億3,705万8千円で、本市の予算全体

では、670億7,288万2千円となっており、前年度比較では13.2パーセントの減となっておりますが、将来を見据えた健全な行財政運営の確率を図ることを念頭に置いた予算となっております。一方、大仙市が主要課題として取り組んでいるものが3つあります。少子高齢化や人口減少、多様化する市民ニーズに対応するため、民間能力の活用並びに臨時雇用者への安定した職場の確保などを目標とした社会福祉施設等の法人化、人口減少や自家用車の普及による乗合バス路線の全部または一部廃止による公共交通の空白地域の解消を目的とした地域公共交通及び市の温泉施設等を運営している第三セクターの営業収益の伸び悩み等から経営状況が厳しい状況にあるため、抜本的な対応をすることを目的とした第三セクターの経営改革があり、将来に禍根を残すことの無いよう対処してまいりたいと考えております。こうした状況の中、中仙地域における主要事業につきましては、まちづくり交付金事業が最終年度を迎え、駅前3号線、新山5号線の道路整備事業、羽後長野駅舎の建て替え及び駅前広場建設が予定されております。また、入角地区簡易水道施設整備事業と田ノ尻地区農業集落排水事業ですが、これにつきましては今年の秋以降供用を開始できる見通しとなっております。次にごみ処理についてでございますが、市の広報やチラシでお知らせしているとおり、4月1日から大仙美郷クリーンセンターで行うこととなります。これに伴い、当地域ではごみ袋や仕分け等について、今までと違う面が出てまいりますがご理解いただきたいと思っております。それからこの地域にあります4箇所の老人憩いの家でございますが、施設の老朽化と利用者の減少により、本年6月をもちまして閉じることになりました。これについても特段のご理解をお願いする次第です。昨年9月にオープンした八乙女交流センターでございますが、様々な事業を計画しておりますので、地域の皆様も積極的に参加されまして、この施設の有効利用を図っていただきたいと思っております。地域協議会委員の皆様を対象とした予算では、今年度と同様に各地域協議会委員の皆様を対象にした全体研修を開催するほか、先進地視察などの活動を支援する活性化事業を措置し、さらに地域枠予算を今年度と同額措置したところであり、地域枠予算に関連し、現在各地域協議会と総合支所が一緒になって地域振興計画の策定作業をしていただいておりますが、地域として何を重視し、どういう方向に持って行きたいのかを明確にし、地域枠予算の執行に反映させていただきたいと考えております。以上総合計画の将来都市像の実現に向け、住民と行政の連携・協働により、市民が安心して暮らせる郷土を未来に残してまいりたいと存じますので、これまで以上のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

#### 【議事】

(1) 会議録署名委員の指名

会長が藤田貞子委員、佐藤昭男委員の2名を指名。異議なしと認め了承する。

(2) 平成19年度中仙地域協議会開催状況及び地域枠予算活用事業の説明

- ・傳農会長…議題(2)平成19年度中仙地域協議会開催状況及び地域枠予算活用事業について地域振興課長から副市長に説明願います。
- ・地域振興課長…それでは平成19年度中仙地域協議会開催状況と地域枠予算活用事業について併せて説明させていただきます。始めに地域協議会の開催状況ですが、今ま

で5回開催しており、本日の会議を入れ6回の開催となります。第1回目の会議は、6月5日中仙農村環境改善センターで開催しております。議題は「新しい時代の学校教育だいせんビジョン」についてでございますが、これは教育委員会の職員が来て説明しております。他に「平成19年度中仙地域自治区関係主要事業」と「地域枠予算事業」を議題としています。第2回目を7月4日に中仙庁舎第21会議室で開催しております。議題は「ごみ有料化」と「地域枠予算事業」でございましたが、ごみ有料化については本庁環境課の職員が来て説明しております。第3回目は10月17日に中仙庁舎21会議室で開催しております。議題は「地域協議会委員研修」と「地域枠予算事業」についてでございました。第4回目は12月20日に中仙庁舎21会議室で開催しております。議題は「地域枠予算事業」についてでございました。第5回目は2月26日に中仙農村環境改善センターで開催しております。議題は「東部地区水道施設整備計画の概要」と「平成20年度中仙地域振興計画」についてでございましたが、東部地区水道施設整備計画の概要については水道局上水道課より職員が来て説明しております。それと今日の第6回目となります。それから中仙地域協議会としての委員研修でございますが、5月16日の大曲市民会館で行われた地域協議会委員研修に参加しております。11月28日は横手市雄物川生涯学習センターにまいりまして中仙地域協議会の委員研修を行っております。また、1月16日には仙北ふれあい文化センターにおきまして、東部地域協議会委員合同研修会を開催しております。平成20年度は中仙が当番地域となっております。次に平成19年度地域枠予算事業について申し上げます。20の事業を行っておりますが、それについて簡単に申し上げます。1番目でございますが、八乙女公園整備並びに活性化事業で八乙女エコクラブが行う八乙女公園環境保護活動、観桜会のボンボリ購入に補助をしたものです。2番目は中仙地域公共施設等除去枝処分事業で、東長野工業団地西側に一時堆積している中仙地域公共施設から出た枝の処分を行ったものです。3番目は市道中仙25号線上危険枝除去事業で上黒土北部落の住民の協力で交通障害の恐れのある枝を除去したものです。4番目はキッズ安全見守り活動で豊岡小学校PTAが行う児童安全見守り活動に使用するマグネットシート、パトロール用ブルゾンの購入に補助したものです。5番目は地域コミュニティ活性化支援事業で地域のイベントで使用する貸し出し用の紅白幕を購入したものです。6番目は八乙女球場後玉川堤防環境美化事業で国体会場となる八乙女球場後の玉川堤防の草刈りをしたものです。7番目は中仙公民館分館環境整備美化活動で昨年に引き続き豊岡分館前の法面に市と協働により豊岡分館環境整備実行委員会が芝桜を植栽し管理するものです。8番目は部落会館駐車場法面補修及び環境美化事業でウ石持部落が市と協働により部落会館駐車場の法面補修と環境美化を行ったものです。9番目は中仙庁舎西側、八乙女荘、桜寿苑環境美化活動で長野中16期会が市と協働により中仙庁舎西側、八乙女荘、桜寿苑に花を植栽し管理するものです。10番目は中仙小学校区域パトロール隊事業で中仙小学校PTAが児童安全確保のため行うパトロール・広報活動用品購入に補助したものです。11番目は全国ジャンボうさぎフェスティバル20周年記念協賛事業で20周年を迎えた全国ジャンボうさぎフェスティバルを盛り上げるため、全国ジャンボうさぎフェスティバル20周年記念協賛事業実行委員会が幟旗、ポールを購入するのに補助をしたものです。

1 2 番目は玉川通り町内会街灯設置事業で玉川通り町内会が設置する街灯 4 灯に補助したものです。1 3 番目はボランティア活動支援事業で貸し出し用下刈り鎌を購入し八乙女公園等の環境整備ボランティアの活動を支援するものです。1 4 番目は下中嶋多目的公園造成事業で市と協働により押切環境事業組合が多目的公園を造成し、地域のイベントに活用するというものです。1 5 番目の看板入替及び設置事業は市の事業で八乙女交流センターを表示するため道の駅前の看板入替と八乙女交友センター北側に八乙女温泉の看板を設置したものです。1 6 番目のコミュニティ備品修繕事業は市の事業で、各イベントで使用されている太鼓 3 張りについて、老朽化した皮を張り替えたものです。1 7 番目の国宝線刻千手観音等鏡像パンフレット作製事業は市の事業として国宝線刻千手観音等鏡像の案内パンフレットを作製したものです。1 8 番目のこめこめプラザ外部手すり等補修塗装事業はこめこめプラザの外部手すりの塗装が剥がれ錆が出て手に傷を負う恐れがあることと、この手すりの根元や柱ベース部の腐食を防ぐため市の事業として塗装を行うものです。1 9 番目のイベント用品整備事業は市の事業として全国ジャンボウさぎフェスティバル歓迎アーチの看板更新と不足しているケージを購入したものです。最後でございますが 2 0 番目の桜テングス病枝除去事業は市の事業として、新幹線から見える斉内川堤防の桜と観桜会で観光客が訪れる八乙女公園のテングス病感染枝を除去し、景観の保全を図るというものです。現在作業進行中でもう 2、3 日で終了の予定です。以上が 1 9 年度の地域枠予算事業の概要です。

- ・ 傳農会長…説明が終わりましたが、副市長いかがでしょうか。
- ・ 副市長…委員の皆さんが色々検討してこのような事業になったと思います。部落会館駐車場や公園の造成をやっているようですが、財政難のときに住民と協働でやることは良いことだし、国宝の案内パンフレット作製やジャンボウさぎ等に関する事業も中仙の特色が出ていると感じました。
- ・ 傳農会長…有難うございました。それでは議題の（3）平成 2 0 年度中仙地域振興計画について私の方からご説明いたします。この計画は 2 月 2 6 日の第 5 回協議会で皆さんから承認を得たものでございます。2 0 年度は 4 つの振興項目を設けており、これに基づき各事業を実施するとしています。1 つ目は地域自治活動の活性化を図り、協働のまちづくりの気運を高める。2 つ目は地域伝統文化継承保存を図り、郷土愛を高める。3 つ目は地域個性の伸張を図り、この地域での生活に誇りを持たせる。4 つ目に地域活動団体を育成・支援し、地域の高齢化に対応するとしております。基本理念は市民との協働のまちづくりということで、これをどうするかということでございましたが、次のような振興事業といたしましたのでご理解をお願いします。振興事業の 1 つ目として地域自治活動活性化事業を掲げており、その中の 1 つ目に生活安全事業、2 つ目に環境美化・衛生事業、3 つ目に環境整備事業の 3 件を上げております。類型はⅡの地域団体と市の協働事業、Ⅲの地域団体への補助となっており、1 5 4 万 4 千円を計上しております。次に振興事業の 2 つ目に地域伝統文化継承保存支援事業を掲げてございますが、その中の 1 つ目として伝統行事継承保存事業、2 つ目として伝統芸能継承保存事業の 2 件を上げております。類型はⅢの地域団体への補助で 4 0 万円を計上しております。次に振興事業の 3 つ目地域個性伸張事業ですが、景観的地

域特性保全事業と意識的地域特性の伸張事業の2つとしております。景観的の方は今年も桜テングス病枝を除去し景勝の保存を図りたいとしております。意識的の方は講演会等を行い、郷土愛豊かな意識を更に伸張させたいということで初めての事業となっております。この2事業は類型Ⅰの市が行う事業で110万2千円を計上しております。次に振興事業の4つ目地域活動団体育成支援事業ですが、これはボランティア団体の育成及び活動活性化事業で、類型Ⅲの地域団体への補助として50万円を計上しております。次に緊急処理対応事業ですが、これは住民要望により緊急に対応することが必要な場合に使用するもので148万4千円を計上しております。以上総額500万円の地域枠予算となっておりますが、副市長、企画部長からご意見を賜りたいと思います。

- ・副市長…これは、大項目まではこの形でやるものと思いますが、細部についてはこれから計画するのですか。
- ・傳農会長…個々の事業についてはまだ決まっていますが、今までの例により大枠を決めたものです。
- ・副市長…大きな枠を決め、その中で各事業を進めていくようですが、500万円の配分を有効に使っていただきたいと思います。
- ・傳農会長…それではこれでよろしいでしょうか。
- ・副市長…はい、よろしいです。
- ・傳農会長…ありがとうございました。平成20年度中仙地域振興計画は了承されたこととします。それでは(4)市長への提言等について議題としますが、これは昨年度質問したものへの回答について尋ねたもので、お手元の資料にあるとおり、回答が届いておりますのでご覧いただきたいと思います。
- ・副市長…子供たちの各種大会への派遣費への助成については、速やかに払うように指示しております。年度末とか時間が無く、市の補助金も3分の1とか全国大会2分の1とかで足りない分は地域の寄付で賄うなど期間のないときは大変だと思いますが、市の方では遅滞なく補助金は支払うということでやっておりますのでご理解いただきたいと思います。
- ・傳農会長…これについては平瀬委員の質問でしたがいかがですか。
- ・平瀬一浩委員…盆に高知で開催された大会に出場したんですが、交通手段が飛行機しかなく、それも盆の料金が高いときで、しかも前払いということで、大変苦勞しました。15名の選手派遣でしたが最終的に300万円ほどかかり、地域から寄付を戴いている体育文化後援会からの助成などでどうやら賄った状況でした。後で市から補助金を戴きありがたかった訳ですが、「頑張ってこいよ」という意味で、補助金の半額とかを前渡しできないかという質問でした。前渡しがあれば非常に助かるし、また喜びの度合いも大きくなり、どうせ出すものであれば喜びの大きなものにしていただきたいということでした。
- ・傳農会長…ということですのでよろしく申し上げます。議題の(4)を終わりにして(5)その他に入りますが、市長への提言等には出てきませんでした。副市長や市の幹部職員が出席しておりますので、この機会にお尋ねしたいことなどあれば出していただきたいと思います。

- ・金子美喜男委員…市の広報ですが、毎月2回23ページで発行してありますが、地域発のものがないような気がしますので、地域発のスペースを持って欲しいと思います。
- ・企画部長…平成19年度から地域版というのは無くなりましたが、地域からの記事は上がっています。スペースを支所に振り分けてはいませんが、支所と相談をしながら工夫していきたいと思います。
- ・古村貞夫委員…広報に出生、死亡の欄があれば良いんですが。
- ・企画部長…市の広報委員会でも話が出ていますが、難しい人もおり、また個人情報の問題もあるため掲載していないのが実情です。
- ・平瀬一浩委員…少子化による学校の広域合併という話もあるようですが、どういう動きになっていますか。
- ・副市長…教育ビジョンの話と思いますが、少子高齢化により年々子供の数が減り10年前の半分ぐらいの人数となっています。このあと5年10年となると100人規模のところは50人になるとか予想されますので、そうすればこの状態でやっていけるのかとなると合併も視野に入れなければならなくなり、中仙だけで合併するのか、他も入るのか協議しながら進めていかなければならないと思います。協和でも合併前に3年ぐらいかけて話し合っております。最初は反対だった地域が多かったようですが、1学年5人とか2、3人とかが出てきており、子供のことを考え最終的に合併ということになったようです。教育ビジョンはこれらのことを議論し合うためのたたき台として作ったものであり、今後このことは詰めていかなければならないと思います。
- 木元洋子委員…小学生に医療補助があり、中学生になると無くなりますが、インフルエンザの予防接種だけでも補助できないでしょうか。
- ・副市長…単独で6年生まで補助しているところは県内には無いと思っておりますが、子供の医療費を維持していくためには、辛抱するところは辛抱していただかなければならず、中学生のインフルエンザの予防接種はやる人もあればやらない人もあり、現在は自前で行っていただいております。妊婦検診も15回も行っており、他の市町村では3、4回のところもある中で当市はこれにも力を入れてやっております。今やっておるのを単発で終わらせないで、5年から10年は補助制度を続けていかなければならないと思っており、中学生へのインフルエンザの補助は考えていません。子育て支援金を県では0歳児に月1万円を支給しておりますが、20年度からはなくなります。大仙市では0歳児と1歳児に月1万円の支援金は続けますので、このためにも新しいものはやれないということでご理解を賜りたいと思います。
- ・藤田貞子委員…後期高齢者医療制度により健康保険が県に移りますが、検診やドックはどうなるでしょうか。
- ・市民課長…人間ドックについては詳しいことを確認し、後でお答えしたいと思います。
- ・副市長…検診については健康保険組合毎に行うことにはなりますが、後期高齢者については連合から各市町村に委託されますので、こちらで一緒にやることにはなります。
- ・傳農会長…駅前の開発等についてはどうなっていますか。
- ・地域振興課長…この事業を行っている当地域のまちづくり交付金事業が、20年度で終わることになっております。このため来年度道路改良、羽後長野駅舎の建替えと駅前広場の建設でこの事業を終える予定です。

- ・ 傳農会長…遊休施設についてはどうですか。
- ・ 支所長…鑓見内公民館については解体し、土地は地主に変換しております。中仙保育所についても建物を解体し、土地は公売に供する予定です。
- ・ 高橋尊雄委員…来年度からごみ処理が有料化されますが、イベント等により地域で出た公共的なごみの経費はどうなるでしょうか。
- ・ 支所長…その分の負担は考えなければならないと思います。
- ・ 傳農会長…他にございませんか。
- ・ 地域振興課長…藤澤英夫委員からこの3月13日付けで、一身上の都合により3月31日をもって委員を辞職したいとの辞職願が提出されております。今後、新しい委員について人選に当たりますのでよろしくお願ひします。
- ・ 傳農会長…それではよろしくお願ひします。他にございませんか。(声無し) それでは、これもちまして本日の議題の審議を終了いたします。

#### 【閉会】

会長が閉会を宣言

#### 署名

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規程により会議の次第を記載しこれに相違ないことを証明するためここに署名する。

平成20年3月25日

会議録署名委員

議長

委員

委員